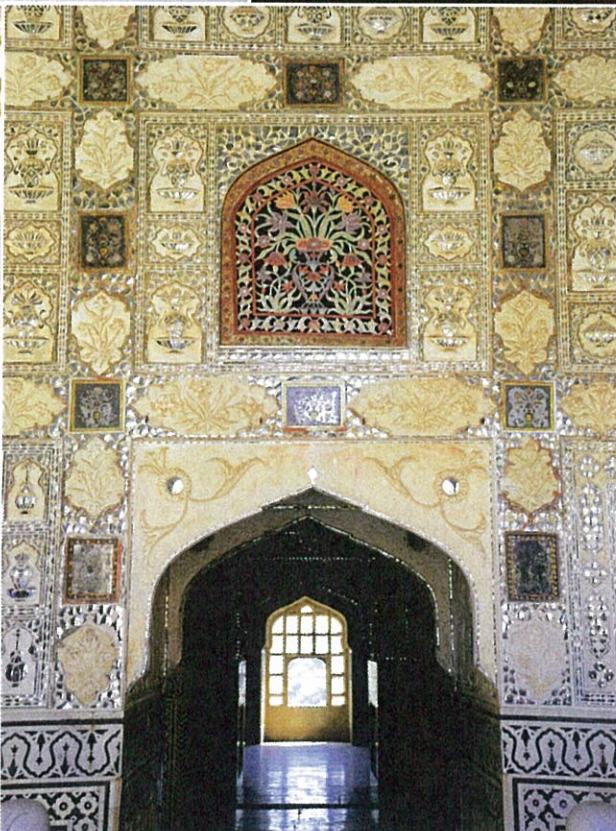
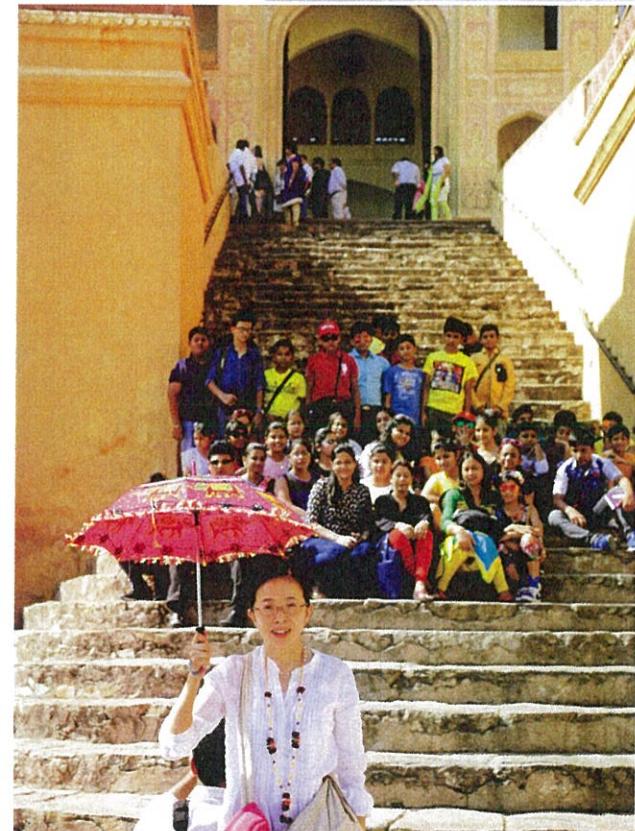


2日目の夜は、列車内で「インディアン・ナイト」パーティ。女性客には全員サリーを着せていただき、男性客もインドの服を着用してバーに集合。流れてきたのはインドのディスコミュージック。世界各国の老若男女、乗客も乗務員も一緒になって踊って盛り上がった。



3日目はジャイプールの北東にあるアンペール城へ。16世紀、アンペール王国の首都として築かれた山城。「勝利の間」「鏡の間」など趣向を凝らした建物の壁はまばゆいばかり! 創建当初は宝石が埋め込まれていたところも。インドの小学生たちも大勢見学に来ていた。

スは他の乗客達からの絶賛を集めたのであり、インディアン・ナイトは賑やかに更けていったのでした。
踊り疲れて熟睡していたら、翌朝はショージさんが優しく急かしてくれました。朝食にパンケーキを食べていると、車窓は次第に農村の風景に。この辺りでは、どの家も粟を栽培しています。粉にして焼くと、ほうれん草カレーにぴったりなのだそう。
やがて列車は、インド五番目の都市・ジャイプールのトゥルガープラ駅に到着しました。下車すると、こでも賑やかに、地元の音楽と踊りでお出迎え。旧市街の建物はピンク色の砂岩で造られ、ピンク・シティと言われる美しい街なのです。

山の上に建つアンペール城を見たり、街中で濃厚なラッシーを飲んでサモサをかじったり、お買い物をしたり。ジャイプールは、ぶらぶらするのに楽しい街です。

そして夜は、ちょっとお洒落をしてから、シティパレスへと向かいました。楽団と象五頭、ラクダなどが迎えてくれた豪壮なこの場所は、この地のマハラジヤの宮殿。今も家族でお住まいなのだそうです。

宮殿の中庭で、私達は象に乗りました。「象に絵を描いてもいいですよ」ということで、ほしさんは象のお腹に猫村さんを! 幻想的な空間で

ヒーラシティ
ジャイプールへ

中は金雲が涼しい
太陽石って
みんなやりして
気持ち持つ
のむす

ヒトカツ
を見まし
へ

ジャイプールの街中では
ラッキーで有名な

店で
スカイ

リップしたかのような気分になり
つつ、ディナーを味わったのでした。

旅は終わるも
インドへの想いは募つて

列車での最後の夜が明け、
翌朝。ショージさんが朝

の紅茶を運んでくれるのも、最後
でしたが、本当に何を食べても美味
しかつたなあ…。ショージさんは

じめ、乗務員さんも優しい方ばかり。
乗客の方々とも仲良くなりそうに。
車が家のようと思えてきて、下車
する時は目頭が熱くなりそうに。

マハラジャ・エクスプレスで体験
するインドは、極めて特別な世界か
もしれません。しかし私はこの数日
間を通じて、インドへの憧れと興味
が、さらにかきたてられたのです。

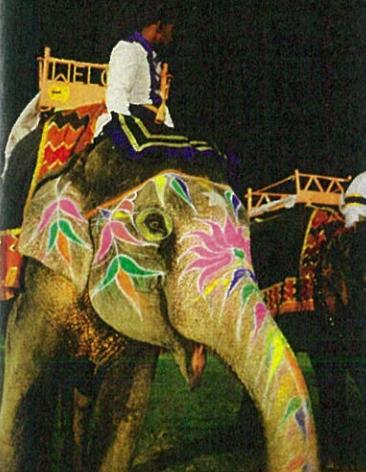
列車の乗客の中にもインドリピー
ターの方がたくさんいましたが、「も
つと深みにはまってみたい」と思わ
せるのが、インドという国。
出発した駅に戻ってきた私は、
マハラジャ・エクスプレスに別
れを告げました。ホームに佇む
列車の威容は、インドそのもの
の存在感のよう。そして私は、
必ずまたインドに来る！…と、
心に誓っていたのです。

混沌とした世界のその奥に まばゆいばかりの美が 存在する国



ピンクシティと呼ばれるジャイプールを象徴する「風の宮殿」。18世紀末に建てられ、当時、宮廷の女性たちがここの窓から街を歩く人々を眺めたという。

3日目の夜、シティパレスでのディナーの前にはゾウと触れ合う時間も。シティパレスには、現在もマハラジャ一家が暮らしている。



イント人の サ暮うし

ニューデリーでは
ガイドのナンダンさんの
家訪問しました

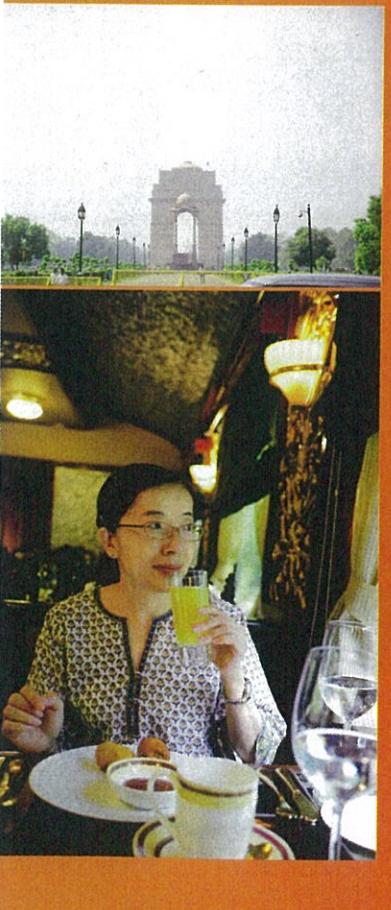
ハンサムな息子さんは
大学生

奥さんがわざ
で、チャイを作
りに来て下さい
ました。

息子さんと娘さんが
住むアパートへ
家庭訪問しました



4日目は朝食を食べた後、デリーで下車。
最終日は、インドのブランド「アノーキ」
の洋服で。



●さかいじゅんこ
エッセイスト。「負け犬の
逃げ恥」から早12年。「ユ
ーミンの罪」「裏が、幸せ」
『芸と能』(清水ミチコさん
との共著)など近著も続々
話題に。

●ほしよりこ
漫画家。「ぎょうの猫村さ
ん」シリーズはフランス語
版、韓国版も発売され世界
的な人気に。「逢沢りく」
で2015年第19回手塚治虫
文化賞マンガ大賞受賞。

酒井順子さんとほしよりこさんが乗車したマハラジャ・エクスプレス
「インドの宝」コースは、このようなスケジュールです！

Day 1 1日目

- 8:30 デリー・サフダルジャン駅から乗車
- 9:30 アグラへ出発
- 10:30 車内でプランチ
- 14:05 アグラに到着
- 14:30 タージ・マハル観光へ
- 18:30 列車に戻り、リラックス
- 19:00 車内で夕食



Day 2 2日目

- 6:30 車内で朝食
- 7:30 アグラ城観光へ
- 9:30 列車に戻り、リラックス
- 9:45 ランタンボールへ出発
- 12:30 車内で昼食
- 14:15 ランタンボール国立公園をジープに乗って観光
- 17:15 列車に戻り、リラックス
- 19:10 ジャイプールへ出発
- 20:00 車内で「インディアン・ナイト」、その後夕食
- 22:00 ジャイプールに到着

Day 3 3日目

- 8:00 車内で朝食
- 9:00 ジャイプール、アンペール城観光へ
- 13:00 列車に戻り、リラックス
- 13:45 車内で昼食
- 18:00 シティパレスかジャイ・マハル・パレスでディナー。ゾウのショーなどを楽しむ。
- 21:00 列車に戻り、リラックス
- 22:30 デリーへ出発



Day 4 4日目

- 7:15 車内で朝食
- 8:30 デリー・サフダルジャン駅で下車後、解散

※予定は変更になることもあります。
今回の旅と一致しない部分もあります。
毎日、希望者にはオプショナルツアーが用意されています。

ラグジュアリーな旅専門「JTBロイヤル

度は乗つてみたい！世界の豪華鉄道の旅のプランを紹介します

観光だけでなく、移動する時間も楽しむ旅の上級者たちが愛する豪華鉄道の旅。マハラジャ・エクスプレスをはじめ、ヨーロッパのオリエント急行など憧れの鉄道の旅。プランを、上質な旅企画がそろう「JTBロイヤルロード銀座」に教えていただきました。

Maharajas' Express

まるで“走る宮殿”！
インドの美がさらめく列車

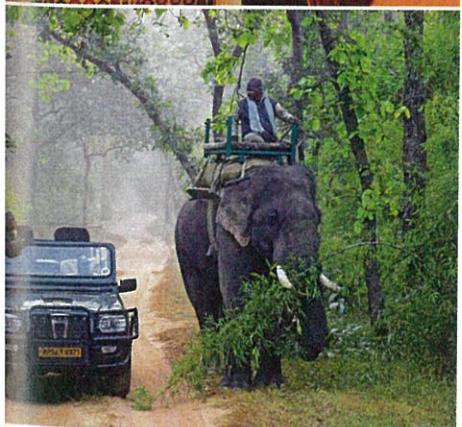
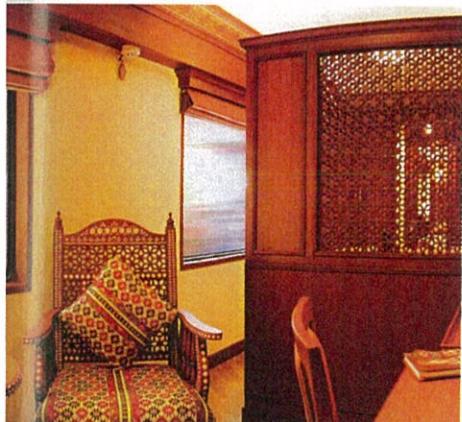
マハラジャ・エクスプレス

ベスト・ラグジュアリー！
トレイン賞、など数々の世界的な旅行関係の賞を受賞している、今、最も注目されている世界最高峰のラグジュアリー・トレイン。客室は、デラックス・ジュニア・スイート、スイート、プレジデンシャル・スイートの4つのカテゴリーがあり、専任の

トラーがきめ細やかなサービスで旅をサポートしてくれます。重厚感のあるインテリアでも、乗務員のサービスは温かく、かしこまりすぎないカジュアルな雰囲気で過ごすことができるのも魅力。日本からは、3泊4日で乗車するツアーが人

◎旅プラン 「夢の豪華特急マハラジャ・エクスプレスと北インド紀行 6日間」

◆主な行程 1日目／午前：成田発直行便でデリーへ。夕刻：着後、ホテルへ。2日目／午前：マハラジャ・エクスプレスに乗車してアグラへ。午後：アグラ市内、世界遺産アグラ城観光。夕刻：高台にあるカフェでタージ・マハルを眺めながら喫茶タイム。車中泊。3日目／早朝：アグラ市内、世界遺産タージ・マハル観光。午前：列車にてランタンボールへ出発。午後：ベンガルタイガーを求めて国立公園でサファリ体験。夜：列車にてジャイプールへ。車中泊。4日目／午前：ジャイプール市内、アンベール城観光。午後：ジャイプールの市場見学。シティ・パレスにてゾウのボロ競技を見学しながら夕食。夜：列車にてデリーへ。5日目／午前：8時30分にマハラジャ・エクスプレス下車。その後、簡単なデリー市内観光。午後：出発までホテルのお部屋をご用意。休憩と荷造り。夜：空路、直行便にて帰国の途へ。6日目／朝：成田着後、解散。◆出発日／2016年1月23日(土)、2月20日(土)。◆旅行代金／1名￥848,000～(エコノミークラス、2名部屋利用)



車窓にインドの人々の日常風景を眺め、ため息が出るほど美しい宮殿や城郭への観光、国立公園のサファリツアーなど、盛りだくさんのイベントが詰まった列車の旅。日本からのツアーは、北インドのゴールデン・トライアングルと呼ばれる主要都市を巡る3泊4日が主流だが、7泊8日のインド縦断ツアーも運行されている。客室内は全室シャワー・トイレ、WiFi、テレビ、DVDプレイヤーなどが完備。車内での食べ物と飲み物はすべて料金に含まれている。

ヨーロッパの貴族たちも愛する
成熟した大人の社交場

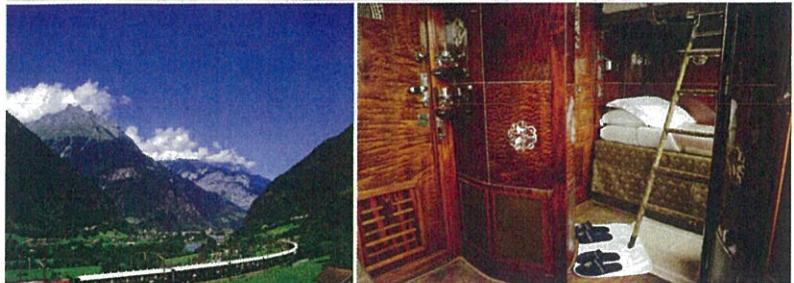
ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレス

1883年から運行が始ま
った有名なオリエント急行
の歴史を受け継ぐ豪華列車。

テリアで、バーやレストランでのディナーは、まさに
成熟した大人の社交場の雰
囲気。夕食時は、男性はダ
ブルスーツにネクタイ、
女性は華やいだ装いでレ
ストアップして集います。
ダブルキャビンは、日中
はソファとして、夜間は
2段寝台で利用します。

◎旅プラン「オリエント急行とベネチア・パリ7日間」

◆主な行程 1日目／午前：成田・関空より乗継でベネチアへ。夜：ホテル泊。2日目／ベニス市内観光。3日目／ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレスに乗車し、パリへ。車中泊。4日目／パリ到着後、市内観光。ホテル泊。5日目／ルーブル美術館、パラス美術館観光。ホテル泊。6日目／午後：空路、直行便にて帰国途へ。7日目／朝：着後解散。◆出発日／2016年3月28日(月)、4月14日(木)、4月25日(月)。◆旅行代金／1名￥988,000～(エコノミークラス、2名部屋利用)



風光明媚なヨーロッパの自然の中、ベニスからパリまでを1泊2日で走る。クラシカルな雰囲気が漂う空間で過ごす時間は、このうえない極上のラグジュアリー感！ ランチとディナーは食堂車で、アフタヌーンティーと朝食はキャビンまで届けられる。運行は、毎年3月下旬～11月下旬まで。予約をお早目に。

熱帯雨林の中を走る
アジア屈指の豪華列車

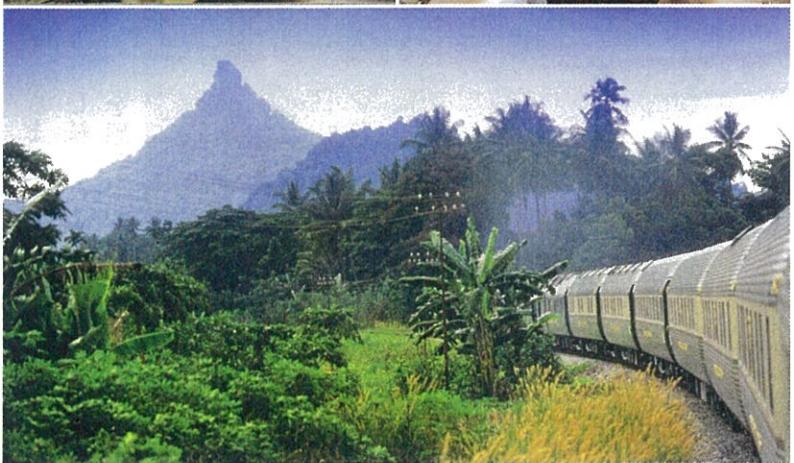
イースタン&オリエンタル・エクスプレス

シンガポール近郊のウッドランズ駅から乗車して、マレーシアを経由。タイの首都バンコクまでを2泊3日で結びます。日中は、クワイ川クルーズなど鉄道会社主催のバスツアーも楽しみ

水田が広がるマレー半島の雄大な景色を満喫できます。東南アジア原産のチーク材に象嵌細工や寄木細工が施されたインテリアは、格調高く、優雅な雰囲気を醸し出します。アジアの素材や調理法とフレンチが融合した料理の美味しさも評判になっています。

◎旅プラン「アジアのオリエント急行とシンガポール・マレーシア・タイ7日間」

◆主な行程 1日目／午前：羽田より直行便でシンガポールへ。夜：ホテル泊。2日目／マリーナ・ベイサンズ、マーライオン公園などシンガポール市内観光。3日目／シンガポールからウッドランズに移動し、イースタン&オリエンタル・エクスプレスに乗車。車中泊。4日目／列車主催のツアーやクワイ川クルーズなど。夕方：バンコク着。ホテル泊。6日目／バンコク市内観光。ホテルでの休憩を経て、深夜、空路、直行便にて帰国途へ。7日目／朝：着後解散。◆出発日／2016年1月17日(日)、2月10日(水)、3月11日(金)。◆旅行代金／1名￥648,000～(エコノミークラス、2名部屋利用)



アジアの自然と溶け合う緑とクリーム色の車両がエキゾチック。旅をともにするほかの乗客や乗務員、現地で出会う村の長老や象使い、ワインのエキスパートなどの出会いも楽しい。JTBロイヤルロード銀座では列車を1晩チャーターした特別プラン「E&Oオリエント急行ディナータイムコース」をご用意。

ラグジュアリーな旅の相談は「JTBロイヤルロード銀座」へ

夫婦や母と娘、友人同士との旅やひとり旅……プレシャス世代の多様な旅の要望は、高品質の旅を手がける「JTBロイヤルロード銀座」がかなえてくれます。旅のテーマごとに「ブランド」が設けられていて、海外旅行、国内旅行、クルーズ、オペラやクラシック鑑賞ツアーなど好みに合わせてさまざまな旅のラインアップがそろうのが魅力。外国からのお客様を日本に招くときのプランニングを専任コンシェルジュが手伝う「グローバルラウンジ」もあります。



住所／東京都中央区銀座4-3-1 並木館3階
営業時間／10:00～18:00(要予約)

休み／年末年始・祝日・振替休日(土曜日、日曜日は説明会の開催、及びご予約のご来店のみの対応)
このページに掲載した鉄道の旅の問い合わせ先／
☎0120-370-008 または☎03-6731-7660(旅彩デスク、感動の響きデスク)